

- ご挨拶
- 教えてドクター！ 形成外科
- 手外科終了のお知らせ
- 各イベントの報告
- 連携医療機関のご紹介



vol.89
2025.1

JCHOだより
うえーぶ
Wave



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京高輪病院

医療連携・患者支援センター

〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号
TEL: 03-3443-9576 FAX: 03-3443-9570
<https://takanawa.jcho.go.jp/>

病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。

ホットラインの充実と 高齢者急性期への対応

やまもと じゅんじ
院長 **山本 順司**



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は当院の診療活動に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

多くの医師の皆様は患者さんから、健康のためや疾患との関係で、お酒やコーヒーなどの嗜好品とどう付き合っ
てよいのかを尋ねられたことがあるでしょう。これらについては世界中でいろいろな疫学研究が発表されています。まずお酒について、
従来は少量のアルコールは健康に良いとされていました。たとえば赤ワインに含まれるポリフェノールの作用により、少量のアルコール
が心血管疾患のリスクを低下させるとされていました。ところが、最近の研究では「少量でもリスクが増加する」とされています。心血管
リスクを再評価すると飲酒をしないグループには「健康状態が悪いために飲酒しない人」が含まれ過大評価されていた可能性がある
か、アルコール摂取量に比例して全死亡リスクが増加することを示し「安全な摂取量はない」と結論づけている論文もあります。コーヒー
については、早朝空腹時に摂取すると、血糖値の急激な上昇（モーニングスパイク）を引き起こし、2型糖尿病患者の長期予後に悪影響を及
ぼす可能性が指摘されました。カフェインがアドレナリン分泌を刺激し、インスリン抵抗性を一時的に高めたことに起因するとされてい
ます。一方で、食後のコーヒー摂取では同様の現象は認められず、むしろ食後の血糖値上昇を緩和する（コーヒーに含まれるクロロゲン酸
やポリフェノールが糖の吸収を抑制する）効果が確認されています。このように、同じ嗜好品でも摂取するタイミングによって健康への
影響が異なる可能性があります。日常診療における生活指導において、こうした時間生物学的な視点を取り入れることの重要性が増して
いるといえるでしょう。

さて、当院では昨年11月より、既存の心筋梗塞ホットライン、脳卒中ホットラインに加え、新たに急性腹症ホットラインを開設いたし
ました。これにより、緊急性の高い3大領域における24時間体制の専門医対応が可能となりました。特に急性腹症は、その症状や経過が
多様で、初期対応の判断に迷うケースも少なくないかと存じます。当院の急性腹症ホットラインでは、外科医が迅速なトリアージをサ
ポートし、必要に応じて即座に受け入れ体制を整えさせていただきます。

医療機関の機能分化が進む中、地域の診療所の先生方との緊密な連携なくして、真に患者さんのためになる医療は実現できません。新設の急
性腹症ホットラインを含め、当院の救急対応システムを、日々の診療における「万が一」の際の確かな選択肢として、どうぞご活用ください。

本年も地域医療の発展に全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

蛇蛭蝮翼（だふちょうよく）

えん どう かず み
事務部長 **遠藤 和美**



巳年は、これまでの努力してきたことが実を結び始める年だと言われます。

巳を動物にあてはめると蛇になります。蛇というと、嫌われ者扱いをされがちですが、一方で、
脱皮を繰り返して成長することや、その生命力の強さから、再生、復活、長寿を象徴し、知恵、器用
さ、魅力も表し運氣向上の象徴ともされます。また、七福神の一人である学問、音楽、財運、幸運を
与える弁財天の使いとして縁起が良い生き物とされています。

過去の巳年を振り返ると、36年前は昭和から平成に、24年前には聖域なき構造改革を掲げた小泉政権の誕生、12年前には、第2次安
倍政権が発足しアベノミクス（三つの矢）が本格的始動、東京オリンピックの開催が決定しました。

さて、今年はどんな年になるのか？

ドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に返り咲く予定、大阪・関西万博の開催（いのち輝く未来社会のデザイン）、5年に一度の国勢調
査も実施されます。

鬼が出るか蛇が出るか？ 試練なのか喜びなのか？ 人それぞれ感じ方は違うとは思いますが、巳年が皆様にとりまして、たくさんの福を
呼び込む年になりますようお祈り申し上げます。

東京高輪病院は旧船員保険病院（せんぼ高輪病院）から地域医療機能推進機構東京高輪病院に改組され、コロナという未知の感染症も
経験し11年目を迎えます。

蛇の如く鋭い洞察力で己（おのれ）の道を切り開き、柔軟でありながら力強く、古い皮を脱ぎ捨てて一回り大きく、より一層地域の医療、
介護、行政関係のみならず顔の見える連携と持ちつ持たれつ（つ）の関係を構築し、地域医療、地域住民に必要であり続ける病院を目指します。



形成外科

顔面腫瘍の鑑別診断

腫瘍により異なる画像診断について

形成外科

おおつか たかはる

大塚 尚治



顔面に発生する腫瘍は、全身の皮膚にも発生するもの以外で盲点となるものがあります。例えば視診上で感染性粉瘤と類似している外歯瘻があります(写真1)。一見して粉瘤と決めつけ局所麻酔下に切除を試みた場合、基底部が深く骨に至り、術中患者の疼痛は極限に達します。歯根尖部の周囲の膿瘍が瘻孔として皮膚に開口し排膿している状態です。根尖部の処置をしない限り治りません(写真2)。上下顎近傍の感染性皮膚病変ではまずこれを疑い、パントモグラフィー等で術前の画像診断が大切でしょう。

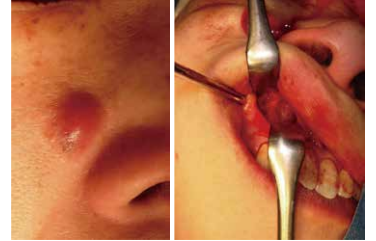


写真1

写真2

耳前部近傍頬部や下顎角、耳垂周辺部などの腫瘍で触診上皮膚との癒着が無く、基底部で癒着のある腫瘍では、まず耳下腺腫瘍を疑ってCT, MRIなどで画像検索します。耳下腺腫瘍が描出された場合、耳下腺管開口部から逆行性に脂溶性造影剤を注入し耳下腺造影単純写(Sialography)やSialo3D-CTが有用です。耳下腺浅葉切除術(顔面神経露出術)の適応となります(写真3)。耳下腺腫瘍はほとんどが多形性腺腫ですが、この多形性腺腫は耳下腺部より近位の頬部、耳下腺管周辺に異所性に生じる場合もあります。

額部(前頭部)や頬部の同じく基底部に癒着のある腫瘍では接線方向の単純写(Tangential-view)が有用です。骨条件のCTで明確に診断されますが、外骨腫や骨血管腫はその単純写のみで診断がつく場合があります。特に骨海绵状血管腫では特徴的所見があるので単純写のみで診断がつきます(写真4)。骨海绵状血管腫は周囲の健康骨を含めて切除します。切除後は陥凹しないように他部位から自家骨外板を移植します。

額部では他に頭蓋骨膜洞や好酸球性肉芽腫があります。頭蓋骨膜洞は視診上、臥位で増大し、座位・立位で消退傾向にあります(写真5)。好酸球性肉芽腫は増大すると頭蓋骨が薄し、CTで骨欠損様にみられます(写真6)。化学療法が基本となり、化学療法なしでは切除してもすぐ再発するため注意が必要です。

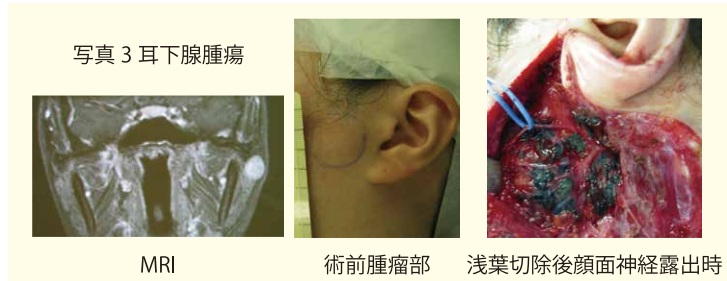


写真3 耳下腺腫瘍

MRI

術前腫瘍部

浅葉切除後顔面神経露出時

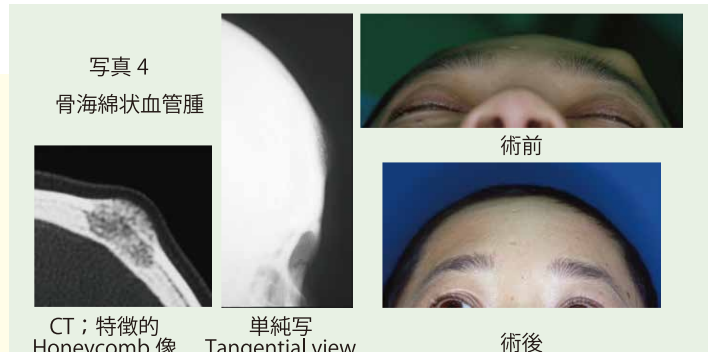


写真4
骨海绵状血管腫

CT; 特徴的
Honeycomb 像

単純写
Tangential view

術前

術後



写真5 頭蓋骨膜洞

術前

術後

術中 腫瘍露出時



写真6 好酸球性肉芽腫

手外科終了のお知らせ

手外科専門医の異動に伴い手外科外来を終了いたします

整形外科部長

すじの たかし

筋野 隆



手外科専門医2名の異動に伴い、令和7年3月末をもちまして毎月第1第3週火曜日午後に行っていた手外科外来が終了になり通常の外来においても常勤の手外科医専門医が不在になります。令和7年2月で手外科専門医へのご紹介は終了させていただきます。これまで専門的な治療を要する手疾患や外傷を含め多数の症例のご紹介をいただき誠にありがとうございました。またご紹介をいただいていた医療機関の皆様にはご迷惑をかけることとなりますが、手外科以外の領域に関しましては従来どおり診療を継続しておりますし、他の専門外来として、スポーツ・肩外来を毎週金曜日午後(熊本医師)、膝・足外来を第2第4火曜日午後(斎藤医師)に行っておりますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

市民公開講座開催報告

泌尿器科部長 石原 順就

10月26日に当院外来ホールで対面講座を開催しました



動画(YouTube)で配信を続けてきた市民公開講座ですが、10月26日に5年ぶりとなる対面式で開催しました。私達の高輪病院が所属するJCHO(地域医療機能推進機構)は2014年に発足し、今年は10周年を迎えることができました。10周年記念行事の一環として、市民公開講座を外来ホールで開催しました。

今回は「認知症とどうつきあう？」と題して当院職員3名からお話をしました。

まず「あなたの知りたい認知症」のテーマで当院の認知症科を20年以上支えて来られました津本部長から認知症の総論をお話しました。続いて認知症看護認定看護師の山下真由美さんの「認知症ケアのヒント」では、認知症の人に寄り添う対応について具体的な場面を例示して、少し言い方を変えるだけでもご本人の不安を和らげて、結果的にトラブル解消につながることをお話しました。ここでは、看護師が認知症患者とその家族の役になって寸劇をして、探し物の援助をスムーズに進めた事例を紹介しました。

最後に摂食嚥下障害看護認定看護師の矢場千明さんから、「食事が進まないときの工夫」と題して、認知症患者さんの食事摂取量低下によるフレイルの進行を防ぐために、食事介助の際の食器の持ち方、持たせ方など、嚥下の5期それぞれの場面についての対応をお話しました。

会場では、当院管理栄養士によるソフト食などの実例の展示があり、無料サンプルは完売御礼となりました。

当日は穏やかな天候の中、90名ほどの来場者がいらして、質疑応答では生活の工夫についての具体例についてお話が出ました。

次回は来年3月に整形外科の肩の話題をお届け予定です。

もちろん引き続きYouTubeでの配信もしています。高輪病院のホームページから市民公開講座をクリックしてみてください。13分以内でぎゅっと凝縮してお届けしています。

JCHO10周年コンサート～高輪の音楽隊による院内癒しのコンサート～

11月14日にJCHO発足10周年を記念して、また、地域の皆様に、憩い・癒し・元気をお届けすべく、職員と地域の皆様による手作りのコンサートを企画いたしました。入院・通院中の方、御家族・面会の方々に参加していただきました。地域住民の方も多数来院してくださり、開演前にはほぼ客席が埋まりました。

高輪の音楽隊は、医師、看護師、医療技術、事務、そして心強い助っ人の賛助の方々で構成され、クラシックから歌謡曲、J-POPと多彩な楽曲を披露しました。

ピアノ、チェロ、ヴァイオリン、ヴィオラ、クラリネット、サクソ等の心豊かになる音色が印象的でした。心が落ち着く曲、元気になる曲に「自分も頑張らなくては」というお声を多数いただきました。病院のホールで大勢の方が曲に聞き惚れている様子は、職員の心も和ませてくれました。

休憩時にはピアノの生演奏でラジオ体操行い、職員も含め参加して下さる方が多数いましたのでとても楽しかったです。後のアンケートでも大好評をいただいていたと思います。

音楽を通じ、より親しみやすい病院として、今後も患者様や地域の方々との交流の場を設けていきたいと思います。

総務企画課 総務係長 藤田 美恵子



クリスマスコンサート～ハンドベルコンサート～



12月13日、昨年に続き院内イベント「クリスマスコンサート」を開催しました。

頌栄女子学院の生徒のみなさんによるハンドベルの演奏が行われました。

ハンドベルとは16世紀にイギリスの教会で生まれた楽器で、元々は教会の頂上のタワーベルを鳴らす練習用の楽器でした。1つ1つの音が完全に独立している楽器のため、個々の音を自由に出すことができ、様々な表現が可能になります。しかしその反面、メンバーのまとまりが曲の出来栄に大きく関わるので、心が1つにならないと曲を作り上げることはできません。

中学1年生、2年生、3年生、高校1年生、2年生の5学年の総勢42名により、学年別、または学年混合グループでクリスマスソングを中心に演奏されました。

中学1年生はまだ始めて数か月とのことでしたが、We Wish you a Merry Christmasの演奏をやり切りました。高校2年生はもうすぐ引退で、今回が最後の生演奏でした。司会から演奏まですべてを担ってくれました。演奏と演奏の間の準備時間に、皆が退屈しないようにクイズを出したりして場を盛り上げてくれました。

アンコール曲も含め全6曲、約1時間クリスマスの雰囲気になりました。

最後に生徒のみなさんから手作りのクリスマスカードが配られ、参加した入院患者様をはじめ、通院中の方、御家族・面会の方々、地域の皆様にとっても喜んでいただきました。

総務企画課 総務係長 藤田 美恵子

21 悠翔会在宅クリニック新橋

院長 さい き けい こ
齋木 啓子

地域のホームドクターを目指して

皆さんは病気になったとき、どこで最期まで療養したいですか？

「自宅」を希望される方が半数を超えるものの、「介護してくれる家族に負担がかかる」「症状が急変したときの対応が不安だ」との理由で、最期まで自宅療養を継続することは難しいと思われがちです。また、外来通院ができています方の中には、そもそも「最期の療養場所を考えたことがない」という方も多くおられます。

当院は、外来診療から訪問診療までシームレスな医療を提供することで、地域の皆さんに継続的に関わり、住み慣れた地域での安心した暮らしを最期までサポートする、地域のホームドクターを目指しています。

訪問診療をお考えの方はもちろんのこと、訪問診療はまだ早いと思っていられ方にも、外来診療を通して、皆さんが望む療養の在り方を一緒に考え、実現させるお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせください。

高輪病院さんは、いつでも、どんな状態の患者さんでも快くお引き受け頂けるので、当院の患者さん方も安心して在宅療養を継続出来ております。

今後とも連携の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



東京都港区新橋5-14-10 新橋スクエアビル 7F
TEL.03-6432-0312
<http://www.yushoukai.jp/clinic/shinbashi/>

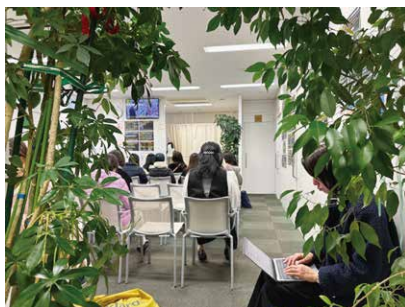


20 ウィメンズクリニック南麻布

院長 しみず よしお
清水 敬生

日帰り円錐切除を行う婦人科腫瘍クリニック

当院が高輪病院と連携を開始させて頂いたのは、友人である池田俊一先生が高輪病院に着任された2023年からです。実は連携の開始はもっと遡ります。私が癌研病院在籍(1987-2003年)中から御指導を仰ぎ、兄のように慕っている吉本賢隆先生が2012年に開業され、乳癌患者様を高輪病院で手術されるようになりました。その中に当院からの紹介患者様も含まれており、高輪病院を身近に感じておりました。さらに癌研病院で外科医として実績をあげられた山本順司先生が2022年に院長に就任されました。私が存じ上げる名医が3人も在籍されており、高輪病院とは深いご縁を感じております。当院は婦人科腫瘍クリニックで、疾患の75%は子宮頸部異形成です。本来検査である組織診を治療的に行い、高度異形成の70%以上は寛解、円錐切除を回避できております。寛解出来ない場合は、「縮小円錐切除+拡大蒸散術」という当院で開発した術式を日帰りで行い、臓器の温存に努めています。その他の腫瘍に対しても、手術しないで治すよう心がけています。血液ドックという独自の検診も行っています。日本のガイドラインは作成に時間がかかり過ぎて、出来上がった頃には、改訂すべき点があるというのが実情です。当院からガイドラインの更新に役立つデータを出せるよう日々精進しております。山本院長体制の高輪病院には安心と夢が持てます。どうか引き続き密な連携と御指導の程、宜しくお願い致します。



東京都港区南麻布5-10-26 ORE広尾 3階
TEL.03-5798-7774
<http://www.womenscl-minamiazabu.com/>

